

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	瑞穂市立牛牧小学校		
実 施 期 間	平成26年10月23日(木)～11月12日(水)		
実 施 概 要	公表会 地域・家族参観		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約 5 5 0 人	計 約 1 0 0 0 人
	地 域 関 係 者	約 4 5 0 人	
実 施 状 況	<p>○実施状況</p> <p><公表会 10/23></p> <p>市教委関係の来賓の方の他、市内外の先生方等が本校の子どもたちの学びの姿を参観した。この公表会には、保護者や地域の方も多数参加していただき、子どもたちの頑張りを見届けていただいた。多くの参観者から、「どの子ども仲間の話を聞く力やノートに書く力がついている。だから、根拠を明確にして話すことができていた。」とお褒めの言葉をいただいた。地域の方(学校評議員)からは、どの子どもたちも、生き生きと学ぶ姿がたくさん見られた。授業の流れやノートの取り方など、継続的に積み上げ指導がなされていて、すばらしい。授業においては、「習得」と「活用」を明らかに取り組んでいることや、言語活動の工夫にも力を入れていることがよくわかったと感想をいただいた。</p> <p><地域・家族参観、人権教育講演会 11/12></p> <p>心豊かな子、仲間を大切にすることを願い、地域・家族参観を行い、全学級「道徳の授業」を公開した。参観後は、笠松町社会福祉協議会長 森 英信先生に「たくましく生きる子」と題して講演をしていただいた。たくましく生きるためには、“がまん”が大切で、これが「人生の節」となって心の成長を促す、と教えていただいた。</p>		
成果及び課題	<p>○「生き生きと学び、『分かる』『できる』を実感できる子の育成」に向け、学校職員が一丸となって指導を積み重ね、願いを共有し研究を強く進めることができた。</p> <p>○話す、聞く等の学ぶ力を高め、基礎・基本の力を身に付け、自分の考えを筋道立てて話すことができる子が増えた。</p>		



- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">○日頃見ることが少ない「道徳の授業」の参観を通して、子どもたちが資料の主人公の行為に共感しながら仲間と語り合う中で、自らを振り返り、新たな価値に気付いていく過程を保護者・地域の方にお見せすることができた。○道徳の授業や人権教育講演会を通して、学校が「心の教育」を大切にして教育実践していることを保護者・地域の方に理解していただくことができた。また、「心の教育」は学校だけでなく、家庭・地域が連携協力していかなければならないことを確認することができた。△「生き生きと学び『分かる』『できる』を実感できる子の育成」に向けては、今後、指導の工夫を積み重ね、更に基礎・基本の力を充実させるとともに、家庭学習の充実や、質の高い読書を日常的に体験させることが大切である。△「公表会」や「道徳の公開授業」、「人権教育講演会」でいただいたご指導、ご意見、アンケート等を吟味、活用し、具体的な行動でこれからの教育活動に生かしていく。 |
|--|--|